

# 【記入見本】

第1号様式（第6条関係）

## 葛飾区地域力向上事業費助成金交付申請書

令和6年6月1日

葛飾区長 宛て

申請者

（団体名） ○○町会

（代表者） 立石 太郎

（住所） 葛飾区立石1-2-3

（電話） 03-1234-5678

下記のとおり助成を受けたいので申請します。

記

事業の名称	いずれかに○をつけ、空欄に具体的な事業名を記入して下さい。 ① 子育て世代や若年世代との関係づくり ② 自治町会活動を知ってもらう取組 ③ 負担軽減の取組 ④ デジタルの活用 ⑤ 事務事業の標準化
	△△町会七夕まつり
他組織との連携	③（有）（連携先：◇◇地区子ども会） ・ 無
助成申請額	100,000 円
連絡責任者	（氏名） 立石 太郎 （電話番号） 03-1234-5678 （メールアドレス） t-tateishi@city.katsushika.lg.jp

※添付書類 事業計画書1通（第1号様式補助①）

事業予算書1通（第1号様式補助②）

※他組織との連携の有無は、「子育て世代や若年世代との関係づくり」又は「自治町会活動を知ってもらう取組」を行う場合のみ、記入して下さい。

# 【記入見本】

第1号様式補助①（第6条関係）

## 葛飾区地域力向上事業費助成事業計画書

団体名 \_\_\_\_\_ ○ ○ 町 会 \_\_\_\_\_

本計画書に関する問い合わせ先

氏名（ふりがな）	立石 太郎（たていし たろう）
役職	会長
電話番号	03-1234-5678
メールアドレス	t-tateishi@city.katsushika.lg.jp

### 1 取り組むテーマ

取り組むテーマに1つに○をつけて下さい。

区分	記入欄
地域活性化の取組	
1 子育て世代や若年世代との関係づくり	○
2 自治町会活動を知ってもらう取組	
運営改善の取組	
3 負担軽減の取組	
4 デジタルの活用	
5 事務事業の標準化	

### 2 事業の名称

△△町会七夕まつり

※選んだテーマに沿った具体的な事業名を記入して下さい。

### 3 現状の課題

現在置かれている地域の環境、課題など、本事業に関連する状況を具体的に記載して下さい。

○○町会の会員が減り、事業に携われる人材が減少している。○○町会の活動を存続していくためにも、事業実施を通じて、若年世代との関係づくりを強化したい。

#### 4 課題に対する解決策

課題解決に向けて、どのような取組をするか具体的に記載して下さい。

〇〇町会内に住む子ども達に短冊を書いてもらい、〇〇町会会館で飾り付けを行う。笹にくくりつける作業及び設置については、町会員が主導となり、子ども達と協力しながら行う。また、〇〇町会会館内に「〇〇町会活動写真展示コーナー」を設置し、コーナーの見学を通じて、参加者に〇〇町会への理解を深めていただき、町会活動への参加及び加入につなげていく。

#### 5 事業全体の概要

事業全体をどのように進めていくのか、スケジュールを記載して下さい。

##### (1) スケジュール (いつ頃、何をするか)

【5月中旬】◇◇地区子ども会と協議し、実施概要を決定し、参加者や家族に対して参加募集のチラシを配布する。

【6月上旬】△△町会七夕まつり使用する物品を購入する。

【6月下旬】役員及び各担当を一堂に集め、当日の役割分担や流れを確認する。

【7月〇日】事業実施

##### (2) 事業の具体的な進め方

◇◇地区子ども会と協議し、実施概要を決定する。その後、該当する参加者や家族に対し、参加募集のチラシを配布し、事業実施に必要な物品を購入する。

役員及び各担当を一堂に集め、当日の役割分担や流れを確認した後、事業を実施する。連絡調整については、LINEグループを作成し、密に行える環境を構築する。

#### 6 事業実施後に想定される成果・効果

本事業を行うことによって、どのような成果・効果が期待できるか、具体的に記載して下さい。

本事業の実施を通じて、参加する子どもやその家族と〇〇町会の町会員が知り合うきっかけを作る。また、参加する子どもやその家族に〇〇町会の活動への理解を深めていただき、活動への参加及び加入につなげていくことができる。

【記入見本】 **連携加算（上限10万円）の場合**

第1号様式補助②（第6条関係）

葛飾区地域力向上事業費助成予算書

団体名 〇〇町会

(収入の部) (単位：円)

科目	収入内容	金額	備考
1 助成金収入	地域力向上事業費助成金	75,000	
2 その他収入	〇〇町会事業運営費	35,000	}
	参加費	② 50,000	
収入合計		160,000	

(支出の部) (単位：円)

科目	支出内容	金額	備考
1 助成対象経費			
物品購入費	事務用品	10,000	ペン、短冊、チラシ用紙等
	のぼり代	20,000	
	参加賞	30,000	
	備品	50,000	机・椅子
	パネル代	20,000	
印刷費	チラシ印刷経費	15,000	
	写真現像代	5,000	
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>助成対象経費の考え方（①②いずれか低い額）</p> <p>①助成対象経費の2分の1の額 と  <math>150,000 \times 1/2 = 75,000</math>円</p> <p>②助成対象事業にかかる経費の総額から、参加費や助成金等の収入を控除した額  <math>160,000 - 50,000 = 110,000</math>円</p> <p>→このケースの場合は、①75,000円を採用する                      ※連携加算での上限額は10万円、単一町会での上限額は5万円</p> </div>			
小計①		① 150,000	
2 助成対象外経費			
役務費	交通費	10,000	
小計②		10,000	
支出合計（①+②）		② 160,000	

※収入合計と支出合計は同額となるように作成してください。